

No. 6-3

事務事業評価シート1-1

は、プルダウンメニューから選択

事務事業No. 06 - 3

事業分類		<input type="checkbox"/> ソフト <input type="checkbox"/> ハード <input checked="" type="checkbox"/> 必需		公的関与 1		作成日 28年 5月 23日		
事務事業名				粗大ごみ収集事務				
総合計画上の位置付け	基本施策	4 快適なまち		課名	環境防災課		係名	環境資源係
		4-1 環境と共生するまちをつくる		シート作成者				
	施策	4-1-1 循環型社会の形成		予算費目	会計	一般		
		② ごみ減量化の啓発と推進			款	4		
主要施策			項		2			
				目	1			
個別計画名								
住民との関わり		特になし						
事業の対象・目的・内容	対象（誰を、何を）		目的（どういう状態にしたいのか）					
	住民		一般ごみ収集で収集できない粗大ごみを最終処分場で回収し、循環型社会形成を目指す。					
事業内容（どのような方法で、何を行うのか）		毎年3月に粗大ごみ搬入券を住民に配布し、各学校区別に年4回の搬入日を指定し、金属・小型家電類・家具等・おもちゃ類・布団類・テープ類に分けて搬入している。小型家電については、機器等に含まれるレアメタル等のリサイクルを目的に回収業者に売却を行い、また金属類については回収業者が買取り、その他の粗大ごみについては桑名広域清掃事業組合に運搬しリサイクルできる物と処分する物に分別される。 27年度 粗大ごみ 368t 粗大ごみ受入れ、搬出委託料 6,128,465円						
事業期間		昭和 <input type="checkbox"/> 平成 <input type="checkbox"/> 年度 ~ 平成 年度 (年間) <input checked="" type="checkbox"/> 期間設定なし						
根拠法令・要綱等								
		平成26年度（決算）		平成27年度（決算）		平成28年度（予算）		
全体事業費（千円）A+B		6,921		6,792		7,813		
財源内訳	国庫支出金	0		0		0		
	県支出金	0		0		0		
	地方債	0		0		0		
	その他特定財源	0		0		0		
	一般財源	6,327		6,198		7,219		
直接事業費（千円）A		6,327		6,198		7,219		
人件費（千円）B		594		594		594		
内訳	一般職員（人・千円）	0.09 人	594	0.09 人	594	0.09 人	594	
	臨時職員（人・千円）	人	0	人	0	人	0	
成果指標	成果指標名		単位	27年度		28年度	29年度	
				目標	実績	(目標)	(目標)	
	①	粗大ごみ処理量	t	330	368	331	330	
	②							
③								
説明	ごみの分別・リサイクルを徹底し、収集量を削減して経費削減を行う。平成24年4月からは小型家電リサイクルによる回収を開始し、平成27年度は回収量は60tであった。							

事業名	粗大ごみ収集事務	シート作成課	環境防災課
-----	----------	--------	-------

一次評価者	環境防災課長	二次評価者	生活部長
-------	--------	-------	------

評価項目の説明	チェック項目		一次の評価又は説明	
	一次	二次		
必要性	1. 事業開始時の目的を概ね達成するなど実施意義が低下している。 2. 社会情勢の変化など時の経過とともに事業開始時の目的が変化してきている。 3. 利用者、対象者の減少など住民ニーズの低下傾向がみられる。 4. 住民ニーズを上回るサービス提供となっている。 5. 国や他市町と比較するとサービスの対象や水準を見直す余地がある。 6. 国や県のサービスと重複している。 7. 民間のサービスと競合している。 8. 厳しい財政状況の中、実施する緊急性が認められない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	粗大ごみは一般ごみ収集で回収できないため、集団回収する必要があります。
有効性	1. 施策の目的を実現するために、事業内容が必ずしも適切とはいえない。 2. 施策への貢献度が著しく高いとはいえない。 3. 施策の中で類似・重複した事務事業が存在する。 4. 事業の継続をしても成果の向上が期待できない。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	集団回収することにより桑名広域清掃事業組合にてリサイクルできるものについては(プラスチック・家具等)リサイクルすることによって結果的には、桑名広域清掃事業組合の負担金削減となっています。
達成度	1. 事業開始時の目標設定に比べて進捗状況が劣っていると思う。 2. 事業開始時の目標に比べて成果があまり上がっていないと思う。 3. 概ね目標を達成していると思う。 4. 十分に目標を達成していると思う。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	回収時間は短縮できないものの、粗大ごみ収集に関する住民への意識付けはほぼ達成しています。
効率性	1. 効果に比べてコストが高い(他市町や類似業務を行う民間に比べて)。 2. 現在の事業実施主体の他に効率的に事業を実施できる主体がある。 3. 他の実施主体のノウハウを活用できる。 4. 他の実施主体を活用しても公平性・公正性等が担保され、行政責任が問われない。 5. 事業実施している人員、手段等の見直しによりコスト削減の余地がある。 6. 電子化等の事務改善によりコスト削減の余地がある。 7. 契約方法の変更などによりコスト削減の余地がある。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	委託することにより、人件費の削減・業務の迅速化が図られ、住民サービス向上が期待できます。

本事務事業の実施適切性の説明

集団回収することにより収集に係る経費の削減につながっているが、ごみ処理経費等は増加傾向にあるため、事務委託を含めた事業内容の見直しを今後検討する方向にあります。

一次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	3	(8) B	(8) A
		(7) (6) D	(5) (6) C	(8)			
今後の方針	休・廃止	見直し		継続	拡大		
今後の改革・改善目標	町を6地区(神田、稲部、三和、笹尾西、笹尾東、城山)に分けて、各地区年4回の粗大ごみ収集を効率的及び効果的に行っています。今後は有料化の検討もする必要があり、リサイクルバンクの周知も図っていきます。						

二次評価	評価	必要性	有効性	達成度	効率性	総合評価	
		4	4	3	3	(8) B	(8) A
		(7) (6) D	(5) (6) C	(8)			
今後の方針	休・廃止	見直し		継続	拡大		
コメント	不要な物は購入しない等のPR及び有料化の検討。						

二次評価に対する課の考え方							
---------------	--	--	--	--	--	--	--

参画協働の今後の方針	いつから	平成	年度から	1	現在の手段を継続する		
------------	------	----	------	---	------------	--	--